

厚生労働科学研究費補助金
障害者政策総合研究事業（感覚器障害分野）
分担研究報告書（H30-感覚器-一般-001）

感覚器に障害をもつ子どもの情報アクセシビリティに関する研修テキスト開発研究

分担研究者：熊井 正之（東北大学大学院教育学研究科 教授）

研究要旨

乳幼児の発達支援者向けに開発する研修プログラムテキストの中の「感覚器に障害をもつ子どもの情報アクセシビリティ」の節を開発した。節の項目・内容について、研究者、有識者、当事者からの意見を踏まえつつ、関連領域における文献、経験的知見等を収集・分析して検討した結果、アクセシブルデザインを志向する内容、聴覚障害や視覚障害をもつ乳幼児とそれらの障害をもたない乳幼児がともに遊び生活する場面における情報アクセス支援について解説する構成となった。

A．研究目的

本研究は、乳幼児の発達支援者向けに開発する研修プログラムテキストの中の「感覚器に障害をもつ子どもの情報アクセシビリティ」の節を開発することを目的とした。

B．研究方法

医療、福祉、教育・心理の各領域の研究者、支援現場の有識者からの意見聴取と討論、及び当事者から聴取された意見の文字資料、関連領域の文献、経験的知見等の収集・分析。

C．結果

医療、福祉、教育・心理の各領域の研究者、支援現場の有識者からの意見聴取と討論、当事者から聴取された意見の文字資料の分析・検討から、児童発達支援初任者の具体的な支援実践に役立つよう開発するテキストの全体構成が立案された。

立案された全体構成のうち、「聴覚障害・視覚障害の補装具と環境調整、情報アクセシビリティ」の中の「感覚器に障害をもつ子どもの情報アクセシ

ビリティ」の節の開発を担当することとなった。

担当節の項目・内容について、研究者、有識者、当事者からの意見を踏まえつつ、関連領域の文献、経験的知見等を収集・分析して検討した。

その結果、まず「聴覚に障害をもつ子どもの情報アクセシビリティと支援の実際」「視覚に障害をもつ子どもの情報アクセシビリティと支援の実際」と、障害種別の情報アクセス支援について解説をしたうえで、感覚器の障害に関連する「共用品・共用サービス（アクセシブルデザイン）」の解説をする3項目構成となった。

このうち、「聴覚に障害をもつ子どもの情報アクセシビリティと支援の実際」は、「補聴システム」「信号・警報システム」「字幕」「音声認識技術による音声文字変換」の解説で構成された。

また、「視覚に障害をもつ子どもの情報アクセシビリティと支援の実際」は、「環境の認知」「点字つきさわる絵本、さわる絵本」「DAISY絵本（マルチメディアDAISY図書）」「音声

ガイド、解説放送（副音声）」「文字（テキスト）読み上げ」の解説で構成された。

さらに、「共用品・共用サービス（アクセシブルデザイン）」は、アクセシブルデザインの解説とその具体例「音の出るボール」「点字つきのトランプ」「触知しやすいオセロ」「色名の書いてあるクレヨン」の解説で構成された。

なお、ここでの「情報アクセシビリティ」とは、一般に、情報にアクセスでき、利用できる程度・度合いのこと、具体的には、対面コミュニケーション、テレビ視聴、音声・ビデオ通話、読書、情報機器・ソフトウェア等の情報通信技術使用などの様々な場面で、利用する情報を入手でき、操作・発信できる程度・度合いのことである。また、「アクセシブルデザイン」とは、身体的な特性や障害にかかわらず、より多くの人々が共に利用しやすい製品・施設・サービスのこと、聴覚や視覚に障害をもつ子どもももたない子どもも一緒に使える製品・サービスのことである。

D．考察

上記構成で開発されたテキストの節は、まず、乳幼児の発達支援現場に関連する内容である点、また、「補聴システム等の解説が欲しい」「文字（テキスト）読み上げについての記述も欲しい」といった研究者・有識者の意見等を踏まえている点、さらに、聴覚障害や視覚障害をもつ乳幼児とそれらの障害をもたない乳幼児がともに遊び、生活する場面における情報アクセス支援を想定し、アクセシブルデザインを志向する内容となっている点から妥当と考えられた。

E．結論

乳幼児の発達支援者向けに開発する研修プログラムテキストの中の「感覚器に障害をもつ子どもの情報アクセシビリ

ティ」の節は、聴覚障害や視覚障害をもつ乳幼児とそれらの障害をもたない乳幼児がともに生活し、ともに遊ぶ場面における情報アクセス支援に資する、「聴覚に障害をもつ子どもの情報アクセシビリティと支援の実際」「視覚に障害をもつ子どもの情報アクセシビリティと支援の実際」と、障害種別の解説をしたうえで、感覚器の障害に関連する「共用品・共用サービス（アクセシブルデザイン）」を解説する構成とされた。

F．研究発表

1. 著書：

熊井正之（2020 予定）：「第5章 感覚器に障害をもつ子どもの情報アクセシビリティ」所収 黒田生子ほか編著・監修『聴覚障がい児・盲ろう児の発達支援テキスト（DVD 付き）基礎編』 エスコアール

2. 論文発表

なし

3. 学会発表

○黒田生子・森尚彫・野原信・森つくり・熊井正之・原田勇彦「聴覚障がい児・視覚聴覚二重障がい児の早期発達支援～児童発達支援初任者用研修プログラムの開発について」第63回日本聴覚医学会総会・学術講演会 神戸

G．知的財産権の出願・登録状況

（予定を含む。）

なし